

溝上慎一の教育論(動画チャンネル) No380
桐蔭学園溝上研究室セミナー第5回のご案内

中核的な概念等指導の準備としてのパフォーマンス課題の徹底
探究的な学習（異学年合同ゼミ）と情報とのカップリングの挑戦
with桐蔭学園小学校公開研究会（2026年2月28日[土]）

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
※公益財団法人電通育英会より研究委託を受けて実施されています。
※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

溝上研究室主催第5回セミナー with桐蔭学園小学校公開研究会

- 定員：（公開研究会定員とは別に）溝上研究室セミナー枠50名（先着）
- 日時：2026年2月28日（土）13:00-15:00 +ネットワーキング（～16:00）
 - * 午前中の公開研究会から連続して行いますので、お昼は軽食を用意します。
 - * ネットワーキングではお茶菓子等を用意します。
- 講師：田村 学先生（文科省初等中等教育局主任視学官）
登本洋子先生（東京学芸大学准教授、文部科学省教科調査官[探究]）
- モダレーター：溝上慎一（学校法人桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授）
- 内容：
 - 午前中の理解の確認・深掘り
 - ※桐蔭小のパフォーマンス課題、探究・情報の挑戦
 - ※田村学先生とのQ&A
 - 次期学習指導要領改訂との関連

(案内)桐蔭学園小学校 公開研究会

こちらの一般参加申込みは
終わっております

- ・日時：2026年2月28日（土）9:00-12:30（対面のみ）
- ・参加費：無料（定員100名／先着順）
- ・テーマ：次期指導要領の改訂を見据えた総合的（探究的）な学習への挑戦

〈プログラム〉

9:00-9:45 公開授業 ※全学年、全クラスでパフォーマンス課題の実施

9:55-10:40 研究授業 ※総合的な学習の成果（小3～6年生の合同ゼミ）

10:50-12:30

- ・挨拶 溝上 慎一（学校法人桐蔭学園理事長）
- ・桐蔭小の探究指導
　登本 洋子先生（東京学芸大学准教授、文部科学省初等中等教育局教科調査官）
- ・基調講演

田村 学先生（文部科学省初等中等教育局主任視学官）

「「深い学び」と探究 一学習指導要領の改訂を視野に入れてー」

桐蔭学園小学校研修 パフォーマンス課題の総チェック



12/23の研修風景

「タテ・ヨコの関係」の可視化による深い学びの具現化

『論点整理』 (2025年9月25日)

中核的な概念等に基づく内容や各教科との関わりを含む一層の構造化の在り方

知識及び技能に関する 統合的な理解

＜生きて働く＞

知識及び技能

他の学習や生活の場面でも活用できる

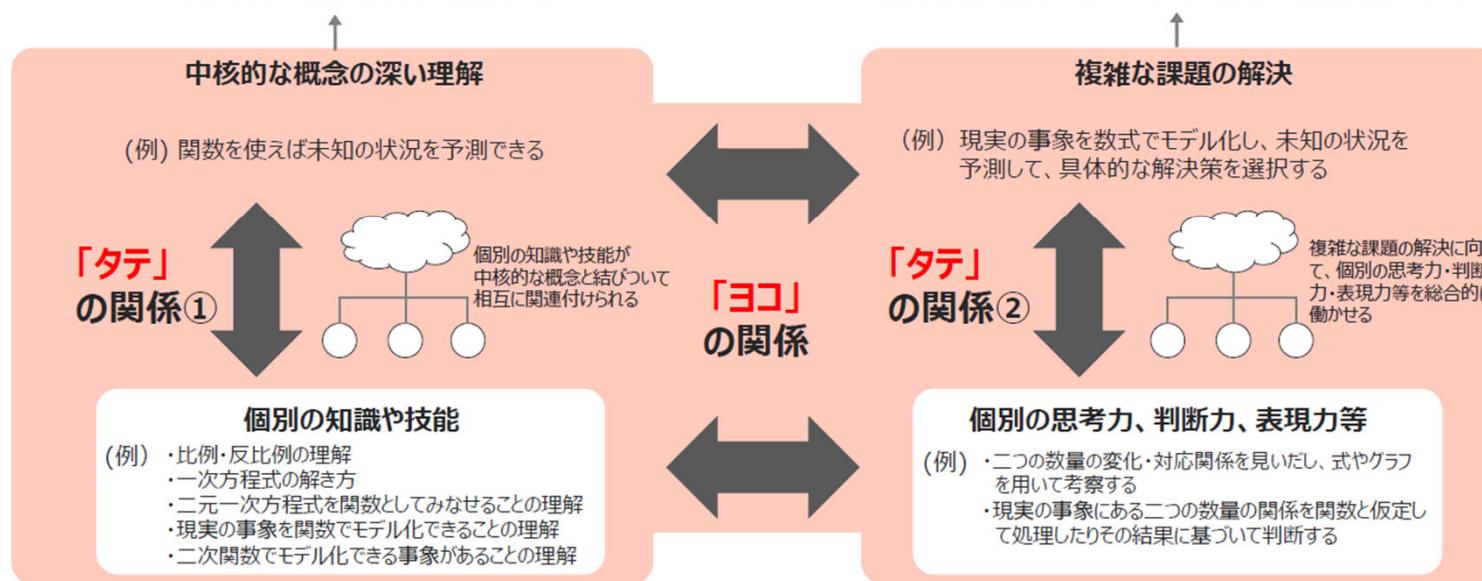
思考力、判断力、表現力等の 総合的な発揮

＜未知の状況にも対応できる＞

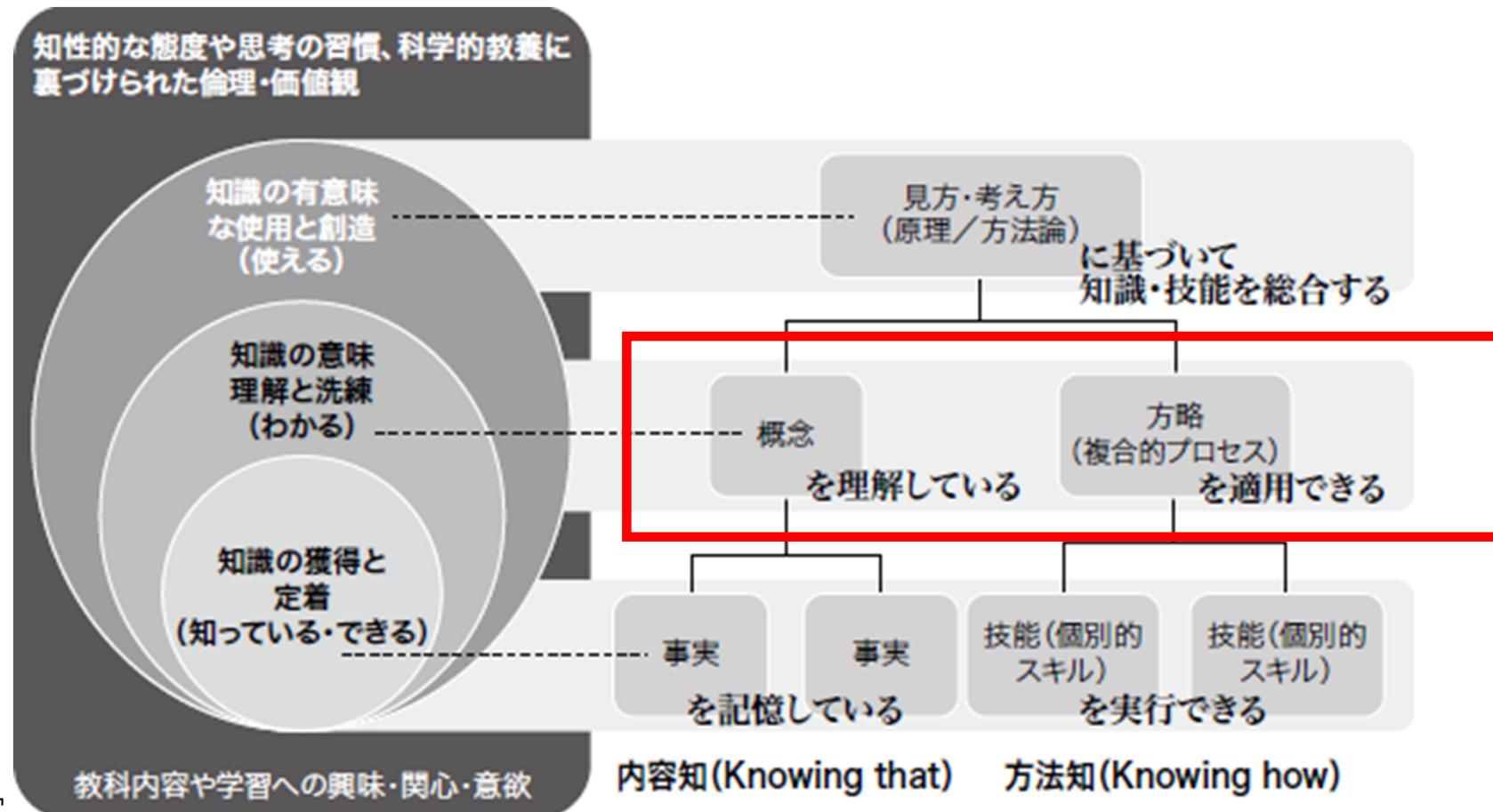
思考力、判断力、表現力等

知識・技能を活用しながら、未知の場面でも課題を解決できる

「第2回総則・評価特別部会」 (令和7[2025]年10月14日)



知の構造 に対応させた深い学び



情報活用能力を基盤として総合的な学習の質を高める

『論点整理』 (2025年9月25日)

幼児教育

小学校

中学校

高等学校

(1) 総合的な学習の時間に情報活用能力を育む領域を付加すべき。その際、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するという、探究の特質が十分に発揮されるよう留意すべき

(2) 探究の質の向上及び学校の負担軽減を図るために、実践の蓄積を可視化する形で、裁量性を維持しつつ、教員や児童・生徒が参照できる参考資料を作成すべき

(3) 中学校及び高等学校での実践の蓄積や、新たな枠組みの全体像を踏まえ、「目標」等の示し方を検討すべき。その際、小中学校での名称についても検討すべき

自発的な活動としての遊びを通しての遊びを通した学び

生活科
※具体的な活動や体験を通じた学び



総合的な学習の時間

総合的な探究の時間

各教科等

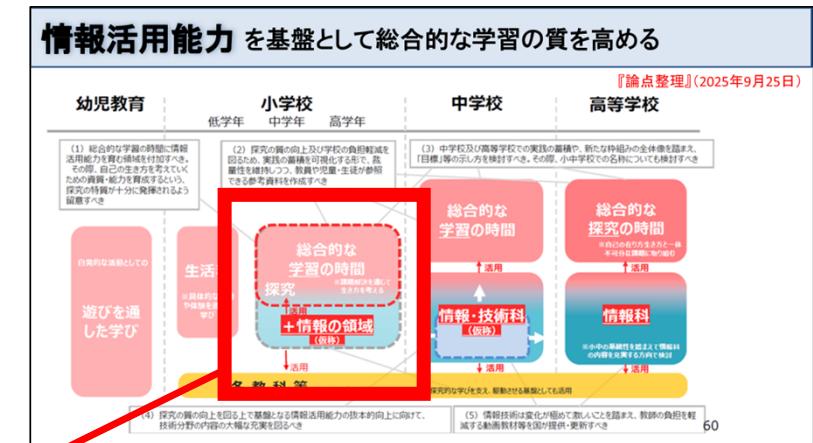
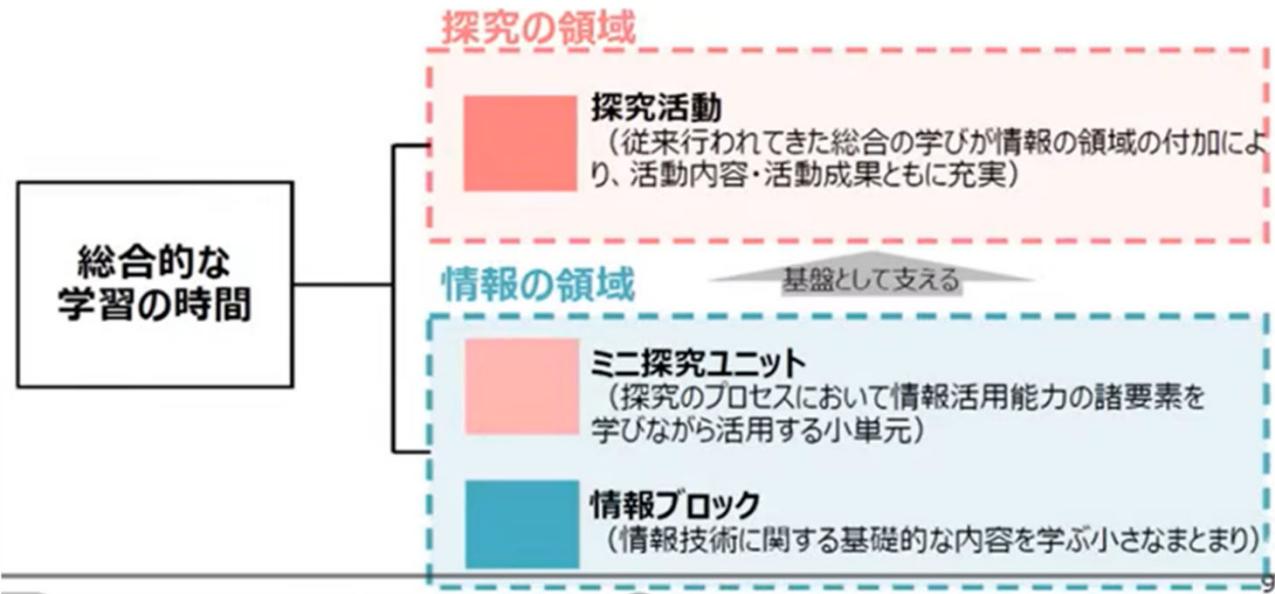
※育んだ情報活用能力を各教科での探究的な学びを支え、駆動させる基盤としても活用

(4) 探究の質の向上を図る上で基盤となる情報活用能力の抜本的向上に向けて、技術分野の内容の大幅な充実を図るべき

(5) 情報技術は変化が極めて激しいことを踏まえ、教師の負担を軽減する動画教材等を国が提供・更新すべき

ミニ探究ユニット の創設(案)

『生活・総合WG（第2回）』（2025年11月10日）



溝上研究室主催第5回セミナー with桐蔭学園小学校公開研究会

- 定員：（公開研究会定員とは別に）溝上研究室セミナー枠50名（先着）
- 日時：2026年2月28日（土）13:00-15:00 +ネットワーキング（～16:00）
 - * 午前中の公開研究会から連続して行いますので、お昼は軽食を用意します。
 - * ネットワーキングではお茶菓子等を用意します。

- 講師：田村 学先生（文科省初等中等教育局主任視学官）
登本洋子先生（東京学芸大学准教授、文部科学省教科調査官[探究]）

モデレーター：溝上慎一（学校法人桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授）

- 内容：
 - 午前中の理解の確認・深掘り
 - ※桐蔭小のパフォーマンス課題、探究・情報の挑戦
 - ※田村学先生とのQ&A
 - 次期学習指導要領改訂との関連

- ・参加費：5,000円（税込み、軽食、お茶菓子代等を含む）
※学校法人桐蔭学園の運営費として会計処理します。
- ・参加対象：
小学校・中学校・高校・大学等の教職員、教育委員会等行政の方、教育や
テーマに関心のある方なら社会人、教育産業の方も含めてどなたでも参加
可です。初めての方も歓迎です！

去年の桐蔭小公開研究会後のセミナーwith登本洋子先生



学習成果をポスターセッションで発表



溝上研究室主催のセミナーでとても大切にしていること

- ・すぐに役立つ情報・知識ではなく、体系的に、概念的に学ぶこと
- ・対話すること
- ・学校種を超えて、様々な属性や背景をもつ他の教育関係者とネットワーキングすること

- お問い合わせ・申込み
溝上慎一宛 mizokami@toin.ac.jp

以下のフォームに記載してメールでお申込みをお願いします。

- お名前（漢字とふりがな）（ ）
*（例）溝上慎一 みぞかみしんいち
- 所属機関・部署、問題なければポジション（ ）
*（例）学校法人桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授
- メールアドレス（ ）
- 参加費領収書：要・不要 ←どちらかを消してください
*「要」の方は、宛名、但し書きをどのように記載してほしいかも書いてください。
- その他：午前中の公開研究会にすでに申込みされている方は、その旨を申し添えてお申し込みください。

※午後のセミナーだけの参加というのはご遠慮ください。

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてくださると、回答の助けになります。

なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等